

# LIXIL ワイヤレス解錠ユニット

## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>


**注意**

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。
- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。


**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>


**注意**

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。強度低下の原因になります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。強度低下またはケガの原因になります。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。強度低下またはケガの原因になります。

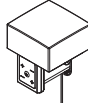
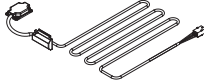

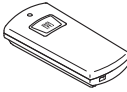

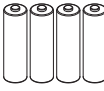





## <施工上のご注意>

### ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
    - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
    - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
    - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
    - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
    - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
    - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
  - アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
  - 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
  - 電池はエネルーブを使用してください。
  - エネルーブの充電器(4本用)は別途購入ください。
- ※ エネルーブはパナソニックの登録商標です。

## 梱包明細表

### 【1】ワイヤレス解錠ユニットセット

名 称	略 図	員 数
リモコン受信器		1
外部接点配線 ※		1
下棧カバー ※		3
リモコン送信器		1
リモコンホルダー		1
電池(エネルーブ 4本セット)		1
配線ガイドワイヤー		1
スリーブ		2
【1-1】φ4×10 トラストタッピンネジ 3種		4
【1-2】φ4×10 バインドタッピンネジ 2種		2
【1-3】φ4.1×20 木ネジ		2
取付説明書<A571>	—	1
取扱説明書<UA210>	—	1

※ 外部接点配線および下棧カバーの取付方法については、門扉用電気錠(システムキー / タッチキー / CAZAS+)の取付説明書<A572>を参照してください。

# 1. 基本寸法図と各部名称

※図は、H12内開き仕様を示します。  
 〈 〉内寸法はH14、[ ]内寸法はH16の場合を示します。

## 1-1 リモコン受信器施工状態

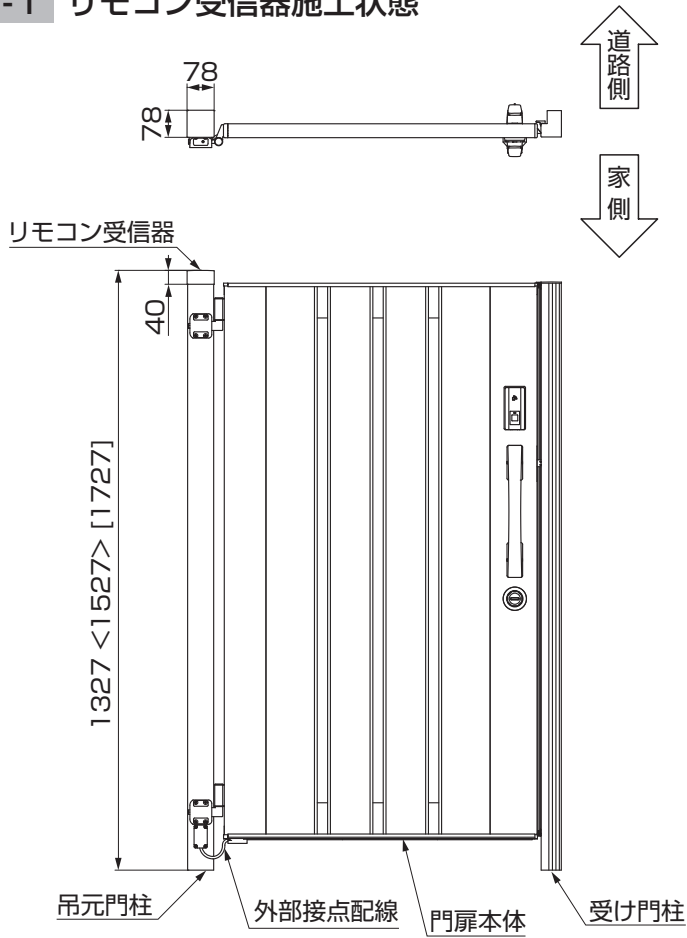


図1-1 施工寸法

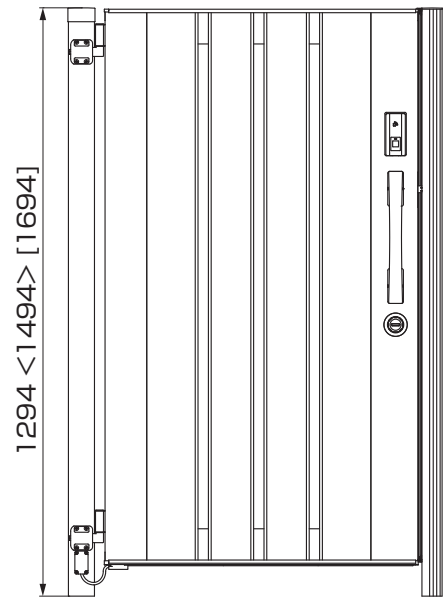
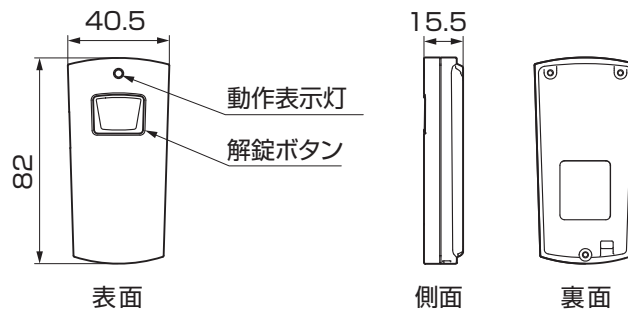


図1-2 門扉とリモコン受信器の高さを合わせる場合

## 1-2 リモコン送信器



## 2. 門柱の加工

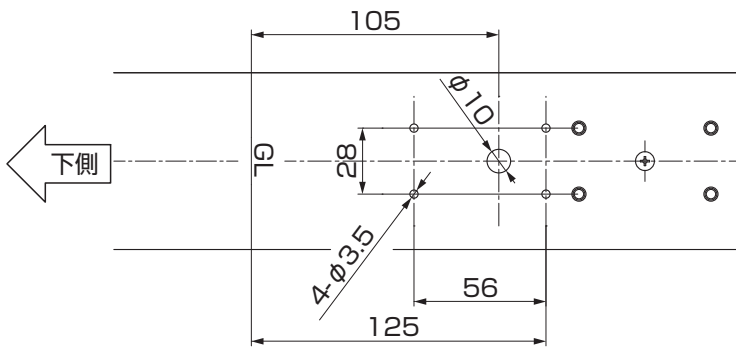


図2-1

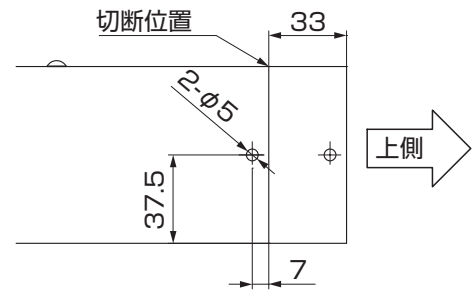
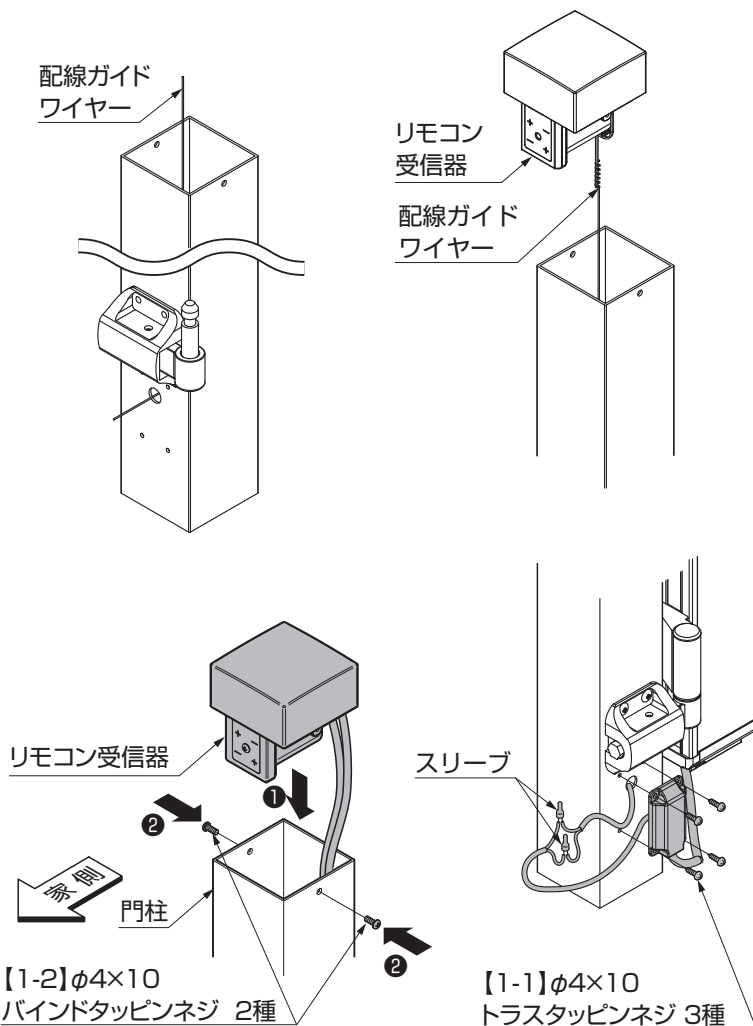


図2-2

- ①吊元門柱の家側面へ図2-1を参考に穴を開けてください。
- ②柱と扉の高さをそろえる場合は、図2-2のように吊元門柱を切断し、側面に穴を貫通で開けてください。

## 3. 門柱への組付け

### 3-1 門柱への組付け



- ①配線ガイドワイヤーを門扉下側の穴より門柱上部まで通してください。
- ②リモコン受信器の配線に配線ガイドワイヤーを巻きつけて、門柱の下側の穴より引き出してください。
- ③リモコン受信器を門柱に差込み、【1-2】で取付けてください。

#### ポイント

- 電池面が家側に向くように取付けてください。

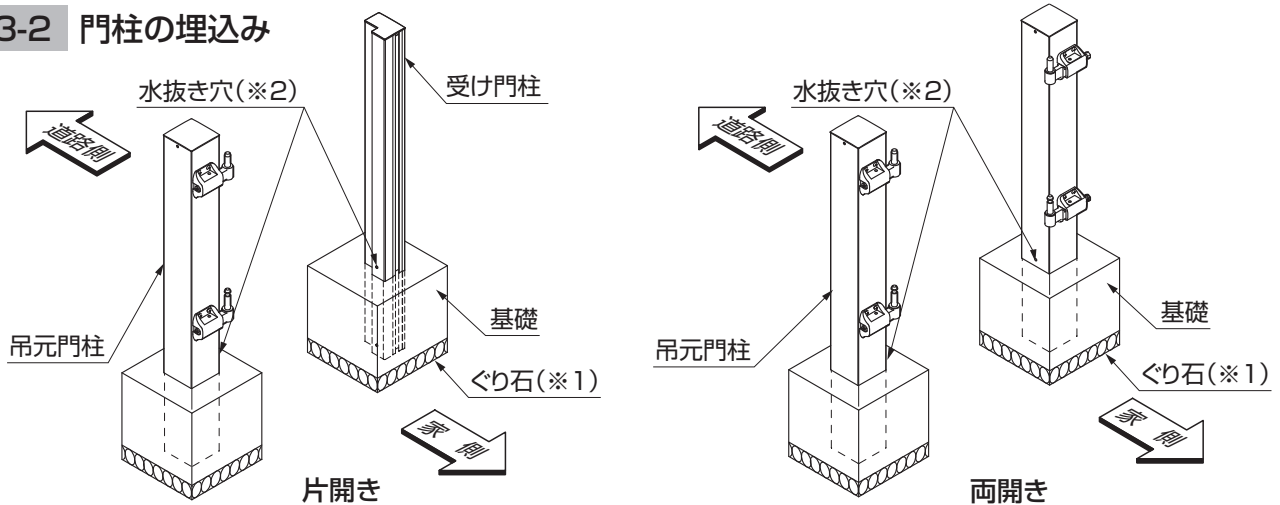
- ④リモコン受信器の配線と外部接点配線をスリーブで圧着してください。

#### ポイント

- スリーブの圧着は確実に、必ず防水テーピングを施してください。防水テーピングをしないと作動不良の原因になります。

- ⑤外部接点配線の門柱側部品を門柱に【1-1】で取付けてください。

### 3-2 門柱の埋込み

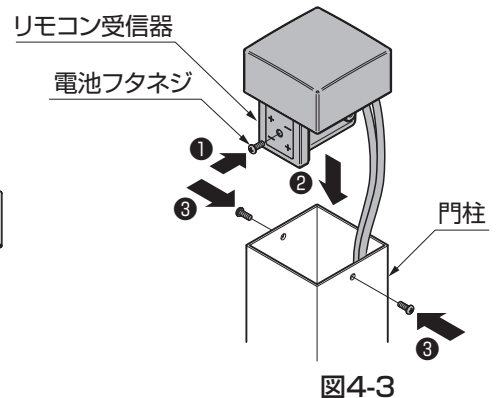
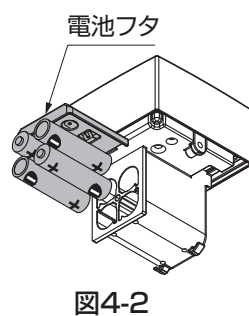
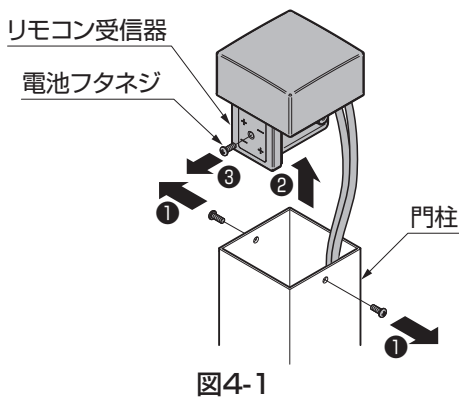


#### ⚠ 注意

- 門柱基礎の割ぐり石を敷いていなかったり、結露しやすい環境のため水が抜けにくい状態になると、柱内部に結露が発生し、リモコン受信器の故障やショート、断線の原因になります。
- 門柱の基礎は、基礎下に100mm厚のぐり石を施工する等して水が抜ける構造にしてください。(※1)
- やむをえず水が抜けにくい構造になった場合はG.L.面より5mm程度上部の柱側面内側にφ5の水抜き穴をあけてください。(※2)  
(※門扉用門柱 取付説明書<A552>を参照してください)

## 4. 電池の挿入

### 4-1 リモコン受信器の電池の挿入



- ① リモコン受信器を吊元門柱から取外してください。
- ② 電池フタネジを取外してください。
- ③ 電池フタを持ち上げて開け、電池を入れてください。

#### 🔑 ポイント

- 電池の向きは電池フタの表示と同じ並びになるように挿入してください。間違えると作動不良の原因となります。
  - 電池交換時には、4本とも充電した電池を使用してください。充電不足の電池を混ぜて使用しないでください。電池が液漏れ、破裂などを引き起こす原因になります。
- ※ねじの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m {12kgf・cm}

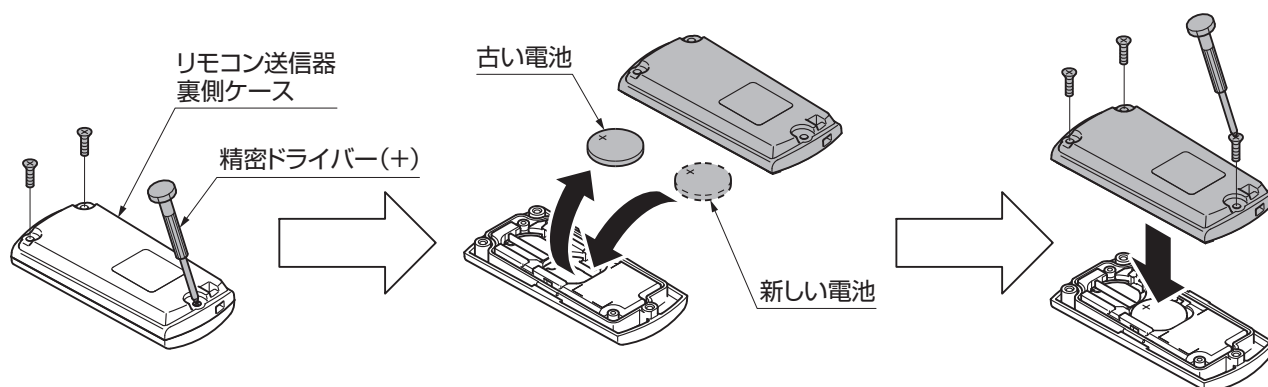
- ④ 電池フタを電池フタネジで固定してください。
- ⑤ リモコン受信器を門柱に取付けてください。

## 4. (つづき)

### 4-2 リモコン送信器の電池交換方法

#### ポイント

- 取外したネジは紛失しないように注意してください。  
※ねじの締付けトルク(推奨) : 0.4N・m {4kgf・cm}

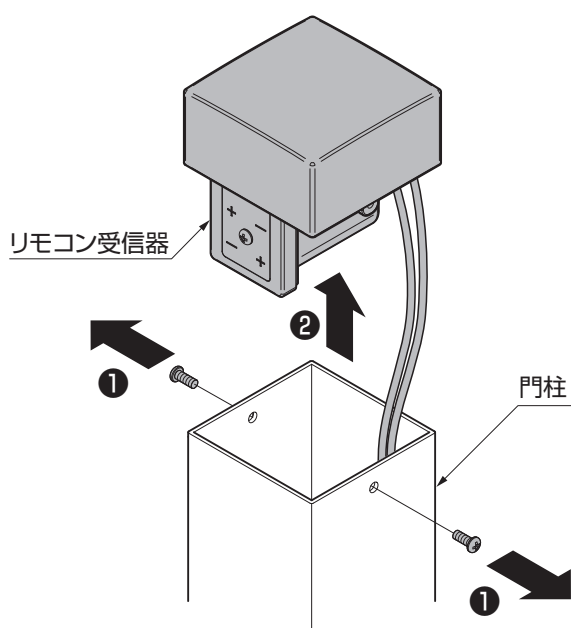


#### 補足

- 出荷時、電池がリモコン送信器に内蔵されています。
- 電池の極性「+」・「-」を確認の上、正しくセットしてください。また、水分やほこり等が入らないようにしてください。

## 5. リモコンの登録・消去方法

### (1) 登録・登録取消しの前に



- ①リモコン受信器を吊元門柱から取外してください。

#### お願い

- 登録または登録取消しが終了した後は、逆の手順でリモコン受信器を取付けてください。  
※ねじの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m {12kgf・cm}

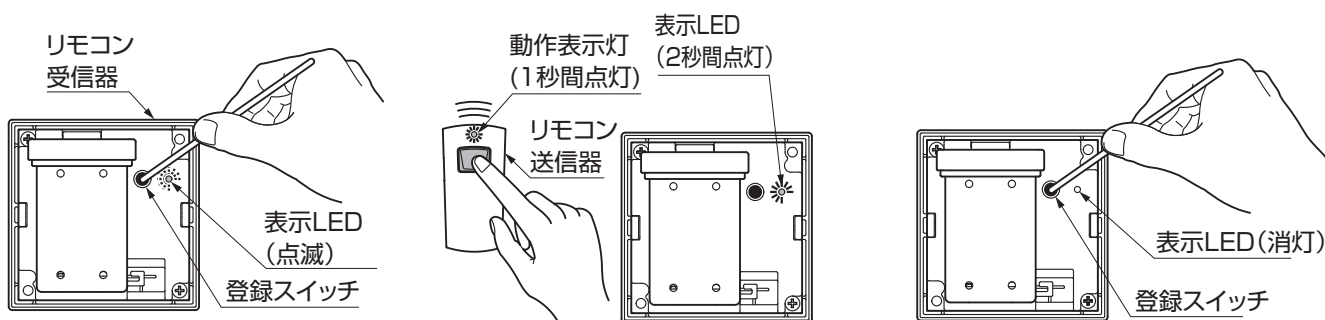
#### 注意

- 登録の際、アルミ型材の切断面に注意してください。ケガをするおそれがあります。

#### 補足

- リモコン受信器の内蔵場所については各商品の取扱説明書を参照してください。

**(2) 登録** ※追加登録する場合も同様の方法になります。



- ①リモコン受信器の下面の登録スイッチをペン先やつまようじなどで押し、登録モードにします。表示LEDが点滅します。
- ②登録するリモコン送信器の解錠ボタンを押します。リモコン受信器の表示LEDが2秒間点灯、およびリモコン送信器の動作表示灯が1秒間点灯し、リモコン送信器の登録が完了します。

**補足**

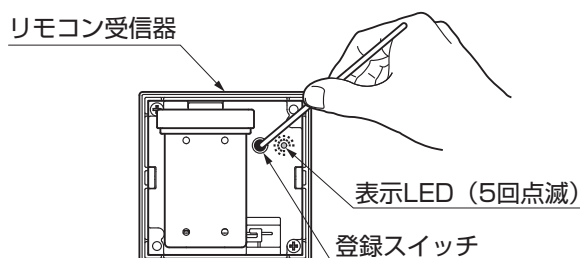
●2台以上登録する場合は、表示LEDが点滅している間に②の作業を繰り返してください。

- ③登録スイッチをペン先やつまようじなどで押し、登録モードを終了します。表示LEDが消灯します。

**補足**

●リモコン送信器の登録が完了後、1分間そのままにしておくと、自動で登録モードが終了します。

**(3) 登録取消し** ※登録されているすべてのリモコン送信器が消去されます。



- ①登録スイッチをペン先やつまようじで8秒以上長く押します。表示LEDが5回点滅します。

**(4) 電波強度の確認**



**リモコン送信器の動作表示灯点灯パターン**

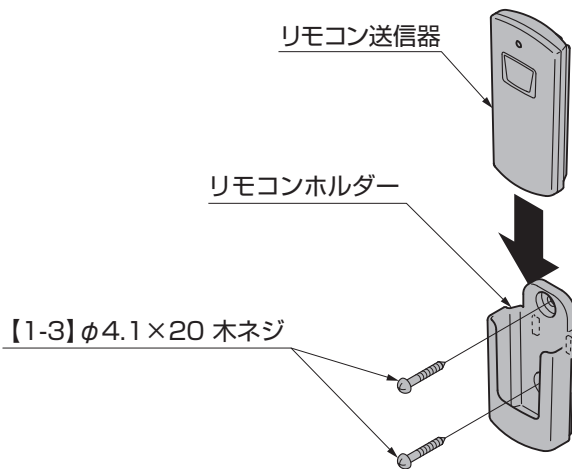
全点灯	十分な電波強度です。
4回点滅	外部影響を受ける恐れがあります。
2回点滅	この場所では使用できません。
点灯しない	この場所では使用できません。

- ①登録スイッチをペン先やつまようじで3秒以上8秒未満長く押します。
- ②表示LEDがゆっくり点滅します。
- ③リモコン送信器より解錠ボタンを押します。電波強度に応じてリモコン送信器の動作表示灯が点灯します。
- ④登録スイッチをペン先やつまようじで押し、電波強度の確認モードを終了します。表示LEDが消灯します。

**補足**

●電波強度の確認モードは、5分経過すると自動で終了します。

## 6. リモコンホルダーの取付け



- ①電波確認モードを使用して、リモコンホルダーの取付け位置で十分な電波強度であることを確認してください。
- ②リモコンホルダーを【1-3】を使用して取付けてください。
- ③リモコン送信器を挿入してください。

## 7. 操作方法

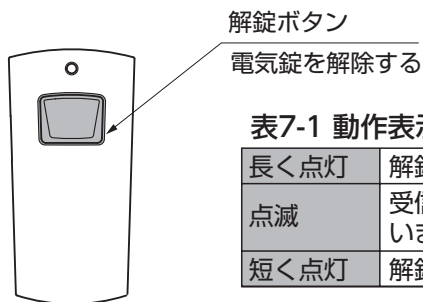


表7-1 動作表示灯

長く点灯	解錠信号が届いています。
点滅	受信器の電池が少なくなっています。
短く点灯	解錠信号が届いていません。

- ①リモコン送信器の解錠ボタンを押します。ボタンを押すと動作表示灯が点灯します。その後に電波の到達状況によって表7-1のように動作表示灯が点灯します。

### 補足

- リモコン送信器で施錠はできません。
- リモコン送信器の到達可能距離(目安)は見通し約30メートルです。

## 8. 商品仕様

### リモコン受信器

使用電池	エネープ 単3型 4本 (DC4.8V)
電池寿命	約1年 ※1
送信周波数	312.2MHz (特定小電力)
送信可能距離	約30m ※2
作動温度範囲	-10℃~50℃

※1:10回/日の操作において

※2:周囲の環境で、到達距離が短くなることがあります。

### リモコン送信器

使用電池	リチウム電池 CR2032 (DC3V)
電池寿命	約3年 ※1
送信周波数	312.2MHz (特定小電力)
送信可能距離	約30m ※2
作動温度範囲	-10℃~50℃

取説コード

**A571**

JZ2623686B  
201301A\_1041  
201906C\_1049